

(5) 卓 球

令和元年度第54回群馬県高等学校総合体育大会卓球競技会
兼令和元年度第69回関東高等学校卓球大会群馬県予選会
兼令和元年度全国高等学校総合体育大会卓球競技会群馬県第一次予選会
兼令和元年度群馬県高等学校卓球選手権大会一次予選会

1. 期日及び会場

○令和元年5月3日(金)・10日(金)・11日(土)・12日(日)

- 第1日(3日) 9:00～ 高崎市浜川体育館
(男女ダブルス決勝まで)
- 第2日(10日) 9:00～ A L S O Kぐんまアリーナ
(男女シングルス準々決勝まで)
- 第3日(11日) 9:00～ A L S O Kぐんまアリーナ
(男女シングルス決勝まで・男女学校対抗準々決勝まで)
- 第4日(12日) 9:00～ 前橋市宮城体育館
(男女学校対抗決勝リーグ戦・順位決定リーグ戦)

2. 競技種目

男子…学校対抗、ダブルス、シングルス
女子…学校対抗、ダブルス、シングルス

3. 競技日程

種目	ダブルス	学校対抗	シングルス
期日			
5月 3日	決勝まで		
10日			準々決勝まで
11日		準々決勝まで	決勝まで
12日		決勝リーグ戦・順位決定リーグ戦	

4. 競技規定

- 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
- 選手は、当該年度の(公財)日本卓球協会発行のゼッケンを背中につけること。
- 監督は、当該年度の役員章((公財)日本卓球協会発行の役員章)をつけること。
- アドバイザーについてのベンチ入りを以下の条件で認める。
 - アドバイザーの資格は、本要項6に基づいて本専門部に登録した指導者と高体連登録をした選手に限る。
 - アドバイザーのベンチ入りは、男女ともにシングルスはベスト32決定戦、ダブルスはベスト16決定戦より認める。
 - アドバイザーは、試合開始時に選手とともに入場する。但し、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合途中でもベンチに入ることができる。試合中にコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- タイムアウトは、個人戦(シングルス・ダブルス)1回戦より、学校対抗ベスト8決定戦及び決勝リーグ戦、順位決定リーグ戦で適用する。

5. 競技方法

- 個人戦(シングルス・ダブルス)は決勝までトーナメント方式、(シングルスは1位から8位までの順位決定戦を行う)、学校対抗は準々決勝までトーナメント方式、その後はリーグ戦方式により1位～4位、5位～8位を決定する。
- 学校対抗は次の方法で行う。
 - ベンチメンバーは8名以内とする。
 - 4～6名による1D(ダブルス)、4S(シングルス)の5試合3点先取方式。試合は下記の順序で行う。但し、3番のD(ダブルス)は、1番、2番のS(シングルス)に出場した選手同士で組むことはできない。なお、S(シングルス)は全て異なる選手とする。

順序	1	2	3	4	5
対戦	S	S	D	S	S

6. 引率・監督

- 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、

県高体連会長に事前に届け出ること。

- (2) 監督は校長が認める指導者とし、当該年度に（公財）日本卓球協会に登録された者であること。また、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、教育上の観点から、好ましくない言動、身だしなみ等が見られる場合、ベンチ入りを断ることもある。

7. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、本連盟卓球専門部に登録を完了し、かつ日本卓球協会に登録している者であること。（本連盟卓球専門部への登録は4月中旬に電子メールにて、また日本卓球協会への登録は各校ごとにWEBにて行って下さい）
- (3) 年齢は、平成12（2000）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、統廃合を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。但し、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
- (7) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- (8) 外国籍選手の大会出場については、全国高体連卓球専門部内規（4）による。（学校対抗は1名のみ起用できる。個人戦シングルスは2名以内、ダブルスは1組、但し、ペアは日本人）
- (9) その他、（公財）全国高体連の「大会参加資格の別途に定める規定」による。

8. 出場制限

- (1) 学校対抗…男女1校各1チーム。（高体連登録が3名以下の学校は申込み不可）。
- (2) ダブルス…男女共1校各4組。但し、平成30年度高体連ランキング者はこの枠外で出場可。
- (3) シングルス…男女共1校各12名。但し、平成30年度高体連ランキング者はこの枠外で出場可。

9. 組合せ会議

4月23日（火）9時 伊勢崎商業高校。「組合せ基本的事項」により常任理事及び理事が行う。但し学校対抗は、4月18日（木）14時30分群馬県総合教育センター405室での顧問総会において、「組合せ基本的事項」により各校顧問が抽選を行う。（顧問欠席の場合は常任理事が責任を持って代理抽選を行う）

10. 表彰

学校対抗、男女優勝校に優勝旗（持回り）を、男女上位4位までに表彰状を授与する。ダブルスは3位まで、シングルスは5位までに表彰状を授与する。

11. 申込方法

参加申込書を各高等学校でとりまとめて、参加校すべて4月22日（月）午後2時までに体育主任を通じ県高等学校体育連盟事務局宛に申し込むこと。
なお、体育主任に申し込むと同時に、卓球専門部への登録に使ったアドレスに送信する。

12. 関東・全国大会への出場権

- (1) 関東大会への出場権
○6月1日（土）～6月2日（日） 埼玉：深谷ビッグタートル
学校対抗…男女上位3校、ダブルス…男女上位2組、シングルス…男女上位8名。
- (2) 全国高校総体県二次予選への出場権
○6月14日（金）ヤマト市民体育館前橋・15日（土）前橋市宮城体育館
学校対抗…男女各校1チーム、ダブルス…男女上位8組、シングルス…男女上位16名。

13. その他

- (1) 顧問総会を4月18日（木）14：30より群馬県総合教育センター405室で実施。（学校対抗の組合せ抽選あり）
- (2) ゼッケン…選手は当該年度の（公財）日本卓球協会発行のゼッケンを必ず着用すること。
- (3) 選手変更…申込み後の変更は認めない。
- (4) 使用球…ニッタク（プラスチック3スター）40mm白色
- (5) ユニフォーム…必ず着用のこと。（ダブルス・学校対抗においては、同種・同色が望ましい。）
- (6) 会場使用について…上履・下履の区別をしっかりとつけること。ゴミは各自で持ち帰ること。
- (7) 高体連登録は4月中旬の決められた期日までに各地区の理事に電子メールにてデータを送付。
- (8) ウォーマー及びジャージについては、できるだけ白色は避ける。